

阿武隈川ニュース

—阿武隈川緊急治水対策プロジェクト—

第1号
令和2年6月

福島河川国道事務所からのお知らせ

福島河川国道事務所では、令和元年10月の台風19号による甚大な洪水被害の発生を受け、『阿武隈川緊急治水対策プロジェクト』を進めています。

このプロジェクトは、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指し、関係機関が連携し、ハード整備・ソフト対策が一体となった流域全体における総合的な防災・減災対策を行うものです。

このうちハード整備の一つとして、地域に合った治水対策(遊水地の整備)を今後地区住民、地権者の皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えております。

本事業に対する皆様のご理解の一助となるよう、今後定期的に、事業の進捗状況や今後の予定、皆様からの質問に対する回答等につぎまして、ニュースレターでお知らせいたします。

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトについて

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトは、下記の5つを柱とする本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策です。

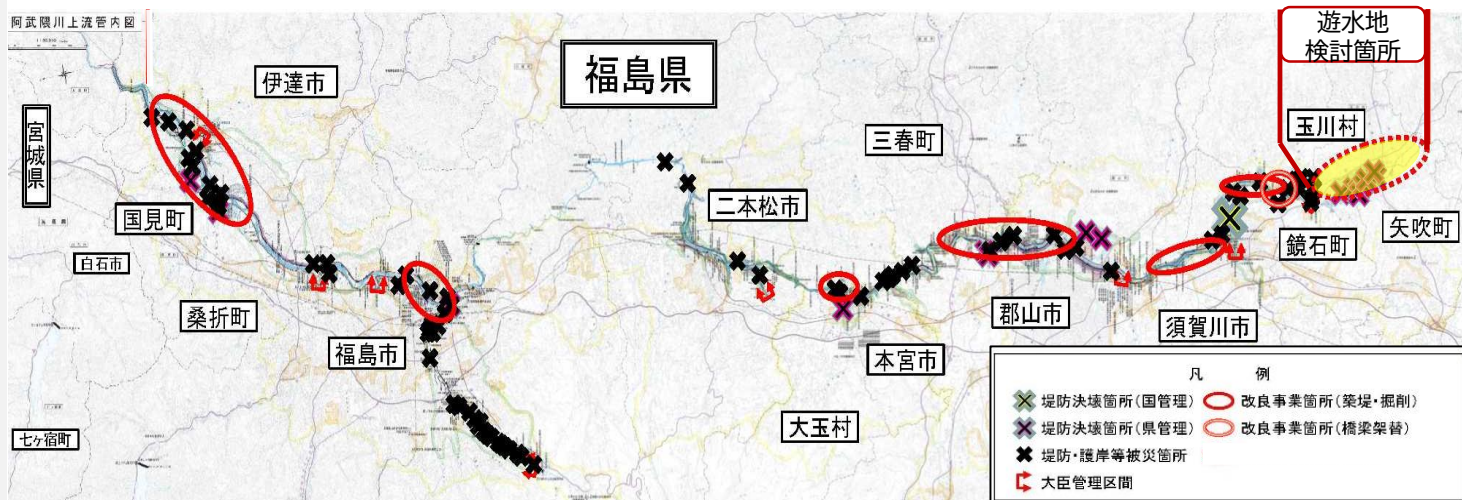
今後、国、県、市町村が連携し、下記の対策を行うことにより、**浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化**を目指します。

- ①阿武隈川本川の水位を低下させる対策、支川における堤防強化等の治水対策を推進いたします。
- ②沿川地域における住まい方、まちづくりの工夫を推進いたします。
- ③的確な避難行動に資するきめ細やかな情報提供等を推進いたします。
- ④本川合流部周辺における支川の減災対策を推進いたします。
- ⑤地域の特性等を踏まえた各種減災対策を推進いたします。



○プロジェクトの内容についてさらに詳しく知りたい方はQRコードをスマートフォンなどを読み取って頂きますと関連サイトに接続できます。

このうち①のハード面では、台風19号で破堤した堤防等河川管理施設等の早期復旧をはじめ、現在実施中の堤防整備の完成、河道掘削や橋梁の架け替え及び**遊水地の整備等の対策を国が実施することにより**、本川の水位を低下させ、浸水被害の低減を目指します。



裏面もご覧下さい。

上流遊水地群に関する現在までの取り組みについて

～地区代表の方々にプロジェクトの概要・この地域の治水対策がなぜ遊水地方式なのか等を説明しました～



【矢吹町三城目地区代表説明の様子】

※新型コロナウイルス対策のためアルコール消毒液を入口に配置。

○実施状況

- ・R2.2.14 玉川村竜崎地区
- ・R2.3.19 鏡石町成田地区
- ・R2.3.28 矢吹町三城目地区
- ↓ 新型コロナウイルスのため説明自粛
- ・R2.5.29 玉川村中地区

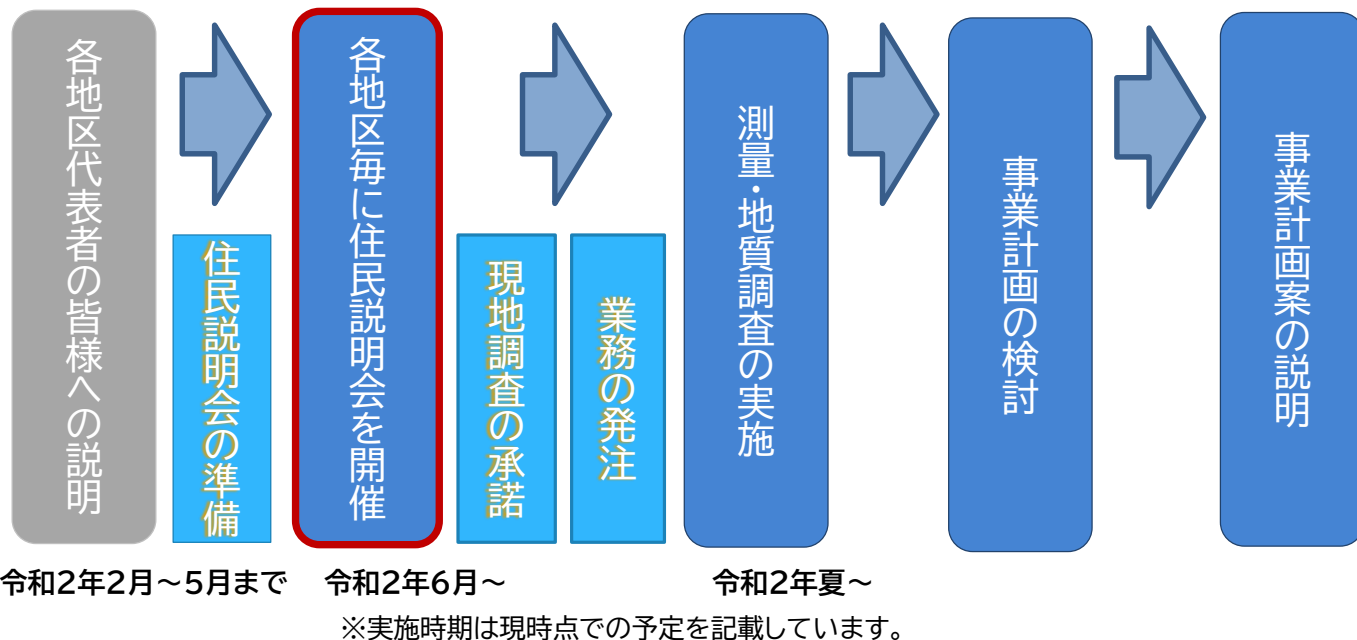
○皆様から頂いたご質問・ご意見

- ・営農継続の可否について
- ・遊水地の範囲に関する検討状況について
- ・家屋移転の可能性の有無について
- ・内水に対する不安があるので、対策を検討して欲しい。
- ・災害復旧工事を早期に進めて欲しい。
- ・地域の意見に耳を傾け事業を進めて欲しい。

今後の取り組みについて

～3町村の地区ごとに住民説明会を開催します～

- 新型コロナウイルスの感染防止に留意しつつ、順次地区の皆様を対象とした住民説明会を開催する予定です。
- この説明会は下記を主旨として開催するものです。
 - ・阿武隈川上流遊水地群の候補地であることを地区の住民の皆様へお伝えし、ご意見をお聴きする。
 - ・まずは事業計画検討のため、現地での地形測量及び地質調査を実施することについてご理解を頂く。



発行元・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
阿武隈川上流緊急治水対策出張所 024-941-0016(代)